

【研究ノート】

カナダ ブリティッシュ・コロンビア州の国際教育プログラム ー BC 州オフショアスクールの紹介 ー

京都大学特任研究員 井上 幸

はじめに

近年、世界中でグローバル時代に適した人材を育成する為、どの国も優れた教育プログラムの開発に向けて真摯に取り組んでいる。中でも、カナダは 1971 年に世界で初めて「多文化主義政策」を採択¹⁾し、移民を受け入れ国際的な教育プログラムを開発してきた。

その中でも、カナダのブリティッシュ・コロンビア州（以下 BC 州）の教育制度は優れた教育プログラムに定評があり、OECD による Programme for International Student Assessment (PISA) の学習到達度調査においても世界で高水準を維持している²⁾。BC 州教育省は、教育プログラムをグローバル教育プログラムの一環として、オフショアスクールで提供している。

オフショアスクールで提供される BC 州の教育カリキュラムとは、カナダのブリティッシュ・コロンビア州教育省により認可されているプログラムであるため、卒業するとカナダの BC 州の高校卒業資格となるドッグウッド・ディプロマを取得することができ、海外のトップレベルの高等教育機関の受験も可能である。BC 州オフショアスクールを導入した日本の高等学校では、ダブルディプロマコースで学ぶため、日本の高校卒業資格も同時に取得することができるプログラムとなっている。

BC 州オフショアスクールは 1995 年に初めて中国で設立され 1997 年に BC 州教育省に認可された。日本でも第 1 校目として 2015 年 4 月より東京の私立学校がすでにオフショアスクールを開校している。2015 年には世界で認可されていた BC 州オフショアスクールの国々は現在と少し異なり、中国 (31 校)、タイ (1 校)、韓国 (5 校)、カタール (1 校)、コロンビア (1 校)、エジプト (1 校)、日本 (1 校) の 41 校であった。

表 1 現在認可されている BC 州オフショアスクール

国	学校数
中国	37 校
コロンビア	1 校
エジプト	1 校
仏	1 校
日本	1 校
カタール	1 校
タイ	1 校

BC 州教育省ホームページより、筆者作成 2019 年 1 月最終確認

現在 BC 州オフショアスクールは中国、コロンビア、エジプト、仏、日本、カタール、タイの7カ国の国々で41校が認可されており、約12,000人以上の生徒達が学んでいる。

第1節 BC 州オフショアスクールの特色

日本国内の中等教育機関においても独自の留学制度を開発している教育機関や、外部による留学斡旋機関と提携し、一定期間、海外の高校への留学プログラムで学ぶ等、今ではグローバル時代に活躍するための英語力を身に付けることは教育環境が整っているため、以前程難しくなくなったと考えられる。しかし、BC 州オフショアスクールでは、自国に居住しながら BC 州の教育が受けられる点において、海外に留学するという一般的な留学システムとは異なる。BC 州オフショアスクールの歴史は海外では長く、1990 年代に中国で初めて認可されて以来、その数も増え続けている。しかし、日本においてはダブルディプロマ取得可能な BC 州オフショアスクールの取り組みはまだ新しく、いまだ希少であるといえるだろう。

カナダは10州3準州から成る連邦制国家であり、カナダの教育制度は各州に設置された州教育省により規定されている。そのため、BC 州オフショアスクールは BC 州教育省により認可されている。

日本の BC 州オフショアスクールでは、BC 州の高校卒業資格（ドッグウッド・ディプロマ）と日本の高等学校卒業資格を同時に取得できる、ダブルディプロマ制度を採択している。BC 州のカリキュラムを指導できるのは、BC 州の教員免許状を所持している者（BC 州教育省に認可された教員）と規定されている。したがって、日本のオフショアスクールにおいても BC 州の教員免許状を持つ教員を配置し、現地の生徒たちが学ぶのと同じように、BC 州教育省に認可された教員による授業を受けることができる。また、日本のダブルディプロマコースのカリキュラムは、BC 州と日本の学習指導要領を統合させて設計されている。日本のカリキュラムについては、日本の教員（日本の教員免許状所持者）による授業を受けることになる。

BC 州のカリキュラムでは、暗記力や詰め込み教育よりも思考スキルに重点が置かれている。従って日本（東京）のオフショアスクールの授業では様々な欧米型の指導法や学習活動が取り入れられており、積極的に発言することが求められる。また他の生徒たちと共に学びながら協働する力を培う、アクティブ・ラーニング型の授業を行っている。例として、“Language Art”の授業では、言語の6技能（スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、ビューイング（鑑賞）、リプリゼンティング（発表））を通して生徒の知的成長を促し、卒業後に海外の大学に進学できるレベルの英語力と、ディスカッションやプレゼンテーションを通して得られる「論理的思考力」「批判的思考力」「問題解決能力」「創造力」の獲得を目指しているとされている³⁾。

卒業後の進学先としては、英語圏（アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド）の全ての大学へと出願が可能となる他、日本の大学へも進学が可能となり、広い選択肢が用意されている。

大きな利点としては、ダブルディプロマコースを修了すると現地（BC 州）の高校生と同じように高度な英語力があることが保証される。そのため、一般的に海外大学へ留学する際には希望する大学への出願時に TOEFL や IELTS 等の資格試験で高得点を取得し、その結果の提出が必要となるがこれらが必要ではないことが挙げられる。また、海外大学への出願方法やビザの取得についてのクラスも、カリ

キュラムの中に組み込まれているため授業で学ぶことができる。

また、日本のオフショアスクールを卒業した生徒が国内の大学に進学する場合も、特別入試を実施する大学もある等、オフショアスクールに学ぶ事は海外大学へ進学を希望する生徒以外にもメリットがあるとされている。

更に、日本のオフショアスクールで学ぶ生徒達は、卒業の要件として BC 州の現地の高校生と同様に、Graduation Assessments と呼ばれる、州統一（卒業）試験を受験することになっている。内容については、literacy assessment（読み書き能力試験）と numeracy assessment（数学試験）と規定されているが、現在試験科目についての改訂が行われている為、詳細については BC 州教育省のホームページで確認ができる⁴⁾。

BC 州教育省が日本のオフショアスクールを 2017 年 10 月に視察した際のレポートによると、当時の在籍生徒数は 46 名（10～12 年生）で、2018 年 3 月に最初の卒業生を送りだしている。プログラムとしてはまだ少人数であるが、入学に際しては、BC 州の教育プログラムの内容を理解して習得できるだけの力が必要となるため、BC 州の実施する英語力試験とオーラルテストも実施されている。また、数学や Science については BC 州側の教員と日本人教員によるティーム・ティーチングが行われているため、生徒達は日英両方の言語でこれらの科目を学ぶことができる。

このような特徴からグローバル時代の教育プログラムの一つとして、このダブルディプロマコースで学ぶことは、日本の高等学校に通学しながら BC 州教育省に認可された教員による授業を通して英語力の向上を図ることができる魅力的なプログラムであると考えられる。

第2節 BC 州オフショアスクールの運営

本節では、BC 州教育省による「オフショアスクール校運営マニュアル」(British Columbia Global Education Program, Operating Manual for Offshore Schools, 2018/2019)⁵⁾を参考に以下の点、(1) オフショアスクールに認可されるための手順と視察、(2) オフショアスクールの運営要件、(3) オフショアスクール担当職員 (Offshore School Representative, 以下 OSR) の役割について明記する。

(1) オフショアスクールに認可されるための手順と、そのプロセスの中で BC 州教育省に提出が必要となる資料や報告書については、BC 州教育省のホームページで詳しく紹介している⁶⁾。ここでは、オフショアスクールへの仮認可／認可の手順と視察が密接に関わっているため、その部分を中心に整理する。具体的には、BC 州教育省にオフショアスクールになるための申し込み手続きを行った後、全ての要件を満たしている場合は、申し込みの際の視察 (Application Inspection) が行われる。視察は、BC 州教育省に任命された視察チームにより、オフショアスクールが運営される国の学校で実施される。視察の要件を全て満たしていれば、仮認可 (pre-certification) のステータスとなり、BC 州教育省と 1 年間の仮認可契約を結ぶ。仮認可のステータスが与えられた学校は、BC 州のカリキュラムを使用する許可が与えられる。最終的に認可されるためには、その後実施される認可のための視察 (certification inspection) の際に、仮認可契約の要件を全て満たしている必要がある。BC 州教育省は視察チームからの推薦も参考にした上で、オフショアスクールに認可するかを決定する。オフショアスクールに認可されると、BC 州教育省と 1 年間の認可契約を結ぶことになる。

またオフショアスクールに認可された後も、年に 1 度、BC 州教育省から任命された視察チームによ

る視察が実施される。これは、BC 州の教育プログラムの品質を維持するために必要となり、認可を受けるための要件とされている。視察の際には、授業見学やカリキュラムの審査も実施される。また視察チームは、オーナー／オペレーター、OSR、学校管理者とその他の教職員とミーティングも実施し、オフショアスクールを運営するための規定や要件が満たされているかについて確認を行うことになっている。視察チームは、何か変更や改善事項があれば学校側に伝え、帰国後、BC 州教育省に視察の結果について報告書を提出する。その結果は BC 州教育省により公開されることとなっている。

(2) のオフショアスクールの運営要件については、学校は仮認可契約／認可契約と「オフショアスクール校運営マニュアル」に概説されている要件に基づき、オフショアスクールを運用する必要がある。また、学校運営を行うオーナー／オペレーターは教育省に申し込み費用、BC 州カリキュラム使用料、プログラムに関する事務手数料、生徒の登録料、視察の費用等の取り決められている費用を BC 州教育省の規定通りに支払わなければならない。他にも、オフショアスクールの運営要件については、教える側の教員の規定に始まり、管理職の役割と責任、人事、生徒の入学学年、カリキュラム内容、成績評価、校舎の安全性、その他学校の管理運営に関する項目が詳細にわたり規定されている。

更に「オフショアスクール校運営マニュアル」にはオーナー／オペレーターと BC 州教育省との契約が取り消される理由についても記載されている。その中の幾つかの理由としては、オーナー／オペレーターが「オフショアスクール校運営マニュアル」と認可契約に概説されている契約内容やプログラムの運営要件について遵守できない場合、必要な費用を支払わない場合、また視察等の結果について BC 州教育省の要求通りに改善が行えない場合、オーナー／オペレーターが BC 州教育省の要件を満たす教育プログラムを提供できない場合なども含まれている。

(3) の OSR についてであるが、オーナー／オペレーターは BC 州教育省に承認された - OSR - を任命する必要があると規定されている。OSR の必要条件についても詳細に取り決められているが、主に BC 州教育省と連携し、学校側と教育省との間の連絡を取り持つコンサルタント／アドバイザーとしての役割を担う。BC 州の教員資格を有し、州の教育制度や規定についても精通している経験豊かな職員として、円滑にオフショアスクールを設立し、運営するために必要な助言を行うとされている。

第3節 BC 州オフショアスクールの戦略

BC 州教育省は、British Columbia Global Education Program の一環として、海外の教育機関と提携しオフショアスクールを開校することで、将来 BC 州の高等教育機関に進学し、その後 BC 州で働き生活することを希望する優秀な人材を、早い段階で獲得できる教育システムを構築している。

日本での BC 州オフショアスクールの歴史はまだ浅いが、中国では 1990 年代より多くのオフショアスクールが設立されている。オフショアスクールについての先行研究の中で、Schuetze (2008) は、オフショアスクールによりもたらされる中国の主な利益として、教育のためのプライベートリソースの活用と、高品質な学校、カリキュラム、教員、革新的な教授法や学びの輸入を挙げている。また、将来こどもに海外で学び仕事ができる高い英語力を身に付けさせたいと望んでいる保護者にとっては、オフショアスクールで学ぶことは大きな魅力となっていることや、生徒達が将来国際貿易やその他、中国に取って重要な国際分野の職業に就くための準備が行えるとして、両言語により授業を受けることは国（政府）の利益にもつながる」と述べている。

このように、中国においても早い段階から BC 州オフショアスクールが設立され増えている事実から、オフショアスクールで学ぶことが中国においても海外大学へ進学するための一つの有効な方法として受け入れられていることが理解できる。

おわりに

本稿では、カナダの BC 州オフショアスクールの制度や特徴について紹介した。

日本の BC 州オフショアスクールに入学する生徒達が実際にどの程度海外大学へ進学するかは今後の動向を確認する必要がある。しかしながら、BC 州オフショアスクールは、卒業後はグローバルシチズンとして社会に貢献できる人材の育成を目的として海外大学への進学の道を拓いているといえよう。今後日本国内にもオフショアスクールが増えることになれば、中等教育後の進路を海外に求める場合、一つの選択肢とする生徒も増えていくことも考えられる。

また、今回取り上げた BC 州オフショアスクールはまだ日本に少ないため、これからの発展に期待したい。

注

- 1) 外務省のホームページ (2009)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol38/> (最終確認 2019 年 2 月 20 日)
- 2) The Council of Ministers of Education (Canada) によるカナダ各州の PISA2015 年調査分析についての資料 p20, 33-34.
http://www.cmec.ca/Publications/Lists/Publications/Attachments/365/Book_PISA2015_EN_Dec5.pdf (最終確認 2019 年 2 月 20 日)
- 3) 日本のオフショアスクールのカリキュラムについての参考資料
<http://bscis.bunsugi.jp/wp/wp-content/uploads/2016/08/d28326428ae541f083e3d2175194fa3f.pdf>
(最終確認 2019 年 4 月 20 日)
- 4) British Columbia Global Education Program, Operating Manual for Offshore Schools, 2018/2019, p23
<https://www2.gov.bc.ca/assets/gov/education/administration/kindergarten-to-grade-12/international-education/operatingmanual2018-19.pdf> (最終確認 2019 年 4 月 18 日)
- 5) British Columbia Global Education Program, Operating Manual for Offshore Schools, 2018/2019
<https://www2.gov.bc.ca/assets/gov/education/administration/kindergarten-to-grade-12/international-education/operatingmanual.pdf> (最終確認 2019 年 4 月 25 日)
- 6) How to Become a B.C. Certified Offshore School
<https://www2.gov.bc.ca/gov/content/education-training/k-12/administration/program-management/international-education/offshore-schools/offshore-school-program> (最終確認 2019 年 4 月 25 日)

- 7) Schuetze, Hans (2008), “Canadian Offshore Schools in China,” Research Reports. Asia Pacific Foundation of Canada.
https://www.asiapacific.ca/sites/default/files/archived_pdf/rr/cdn_offshore.pdf (最終確認 2019 年 2 月 20 日)

【参考文献・資料】

文部科学省国立教育政策研究所「OECD 生徒の学習到達度調査～PISA2015 年調査国際結果の要約」2016 年 12 月

http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2015/03_result.pdf (最終確認 2019 年 2 月 8 日)

BC 州教育省オフショアスクールに関するホームページ

<https://www2.gov.bc.ca/gov/content/education-training/k-12/administration/program-management/international-education/offshore-schools> (最終確認 2019 年 1 月 20 日)

文化学園大学杉並高等学校 (Bunka Suginami Canadian International School)

<https://bunsugi.jp/> (最終確認 2019 年 1 月 20 日)

21 世紀型教育機構

<http://www.21kai.com> (最終確認 2019 年 1 月 20 日)

私立中高進学通信

https://www.schoolnetwork.jp/jhs/shingaku_tsushin/tsushin-201508/school-10.php (最終確認 2019 年 1 月 26 日)

An introductory of the British Columbia's (BC) Global Education Program:

A study of the BC offshore school

Sanae INOUE

The BC offshore school is certified by the province of British Columbia Ministry of Education, in Canada, under its International Education Branch. The BC offshore schools are located in various countries world-wide, and enables students to receive the BC curriculum which is also regulated and delivered by the BC Ministry of Education.

The BC offshore school is still a new school system in Japan, since the first offshore school has just opened in 2015. The BC offshore school in Japan aims to deliver a globally-oriented educational program, which is a mixture of the BC and the Japanese curriculum. Students graduating from the BC offshore school in Japan are able to receive a Double diploma, from both Japanese and BC high schools. The BC Dogwood Diploma, which is a graduation diploma for BC high school, is known for its high quality assurance, and is accepted to many universities throughout the world.

Since we live in a global world, for students who wish to continue their post-secondary studies in international settings and work globally in the future, there is still a strong need for mastering English.

This paper aims to introduce the new school system and the characteristics of the BC offshore school in Japan, which is very unique from the existing schools in our country.